



東本郷

元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい 東本郷小

学校だより

令和3年7月20日発行

川口市立東本郷小学校

TEL: 284-8076

新たな目標や志をもち 充実した夏休みを

校長 朝倉 伸行

梅雨明け後の厳しい暑さが続く中、子供たちは暑さに負けず、元気に過ごし、本日、1学期の終業式を迎えました。

今学期は、各学年の基礎を固める大切な時期でした。本日、学級担任からお子様へ渡しました通知表を通して、今学期におけるお子様の学習や生活の達成状況をご家族でご確認ください。自分を知ることが成長の第一歩となります。何ができて、何ができないのかを知ることが次への成長につながります。そして、明日から始まる夏休みをどう過ごすかが、2学期での更なる成長につながってきます。夏休みは、これまでの学習や生活を見つめ直し、2学期に備え、目標や志を新たに準備する絶好のチャンスです。

以前、次のような言葉を知りました。

Anyone who has never made a mistake has never tried anything new.

この言葉は、相対性理論で知られる20世紀の偉大な科学者であるアインシュタインという人の言葉だそうです。この言葉には、「失敗をしたことのない人は、新しいことに挑戦したことのない人である。」という意味があります。言い換えると、何か新しいことに挑戦すれば、失敗はつきものである、とも言えるのではないのでしょうか。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これまで、オリンピック・パラリンピックの出場選手になるための選考会や練習の様子がテレビなどで取り上げられてきました。出場を目指す選手の方々は、記録を伸ばすため、勝負に勝つために、常に新しい技や新しいプレーに挑戦している様子が伝えられ、その一方で、思った以上の記録が出なかったり、失敗してしまったりした選手の様子も伝えられました。そこで思うのは、オリンピック・パラリンピックの出場を目指す選手は、常に挑戦していることだから失敗もあるということです。何もしなければ、失敗はしません。しかし、成長もありません。だから、選手は自分自身を高めるために、オリンピック・パラリンピックの出場選手になるために、失敗を恐れず、失敗を繰り返しながら挑戦し続けているのです。この夏休み中、一生懸命競技に取り組む選手の姿をテレビを通して見るすることができます。子供たちには、挑戦している人から何かを学んでほしいと思います。そして、新たな目標や志をもち、常に挑戦できる人であってほしいと願っています。

明日から始まる夏休みにおける日々の生活の積み重ねは、子供たちの大きな成長へとつながるものと考えています。コロナ禍ではありますが、子供たちには、1学期の自分を振り返り、長期の休業でなければできないことに挑戦し、明日からの1日1日を大切に過ごし、目標の達成や新たな志に向けて、自分なりの努力を続け、充実した日々を送ってほしいと思います。

結びに、保護者、地域の方々から1学期間に賜りました、本校の教育活動へのご理解とご支援に感謝いたします。また、子供たちが交通事故をはじめとした様々な事故に遭うことなく、安全で有意義な夏休みを過ごし、2学期の始業式に笑顔で登校してくれることを願っております。